
トリブルスズ エピソード 2

メイシア マルキュリア

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

トリプルスズ エピソード 2

【Nコード】

N3453C

【作者名】

メイシア マルキュリア

【あらすじ】

車を走らせていると空一面にエックス型の細長く引かれた雲が目に見えましたその雲の先は限りなく延びていましたその中心に向かって尾をひいて進んでいるホウキ星のような雲が海の方からひとつ山のほうからもひとつその下の地上には虹が現われていました何枚かのフォトの一枚だけに虹が写っているほんのわずかな瞬間に

3 - 1 イノチとカルマ (RELATION)

宇宙神はサンタのようにプレゼントを下さっているのです
それはイノチの物語という目には見えないプレゼント

神は人にあなたの命の目的はこうあるのだよ

だからこうイキルがよいとイノチの物語をプレゼントしておられる
のです

でも人にそれを受ける望みがなければプレゼントは地に落ちてしま
うのです

サンタのプレゼントは靴下の中に現われるという

その理由はね

靴下は人のいちばん下になって働いている

人もそうあれば神のプレゼントはその中に現われるという教えなの
です

宇宙なる神はあらゆるすべてになって人に仕え尽しておられます
水や光や空気はもちろん・あらゆる物質非物質となつてです

だから靴下は宇宙神の尽くす相スガタの象徴なのです

そして宇宙なる神のプレゼントはパズルのピースのようなもの
はじめてのピースは3才の頃

それにはすべての目次が書かれています

けれどそれはクモリガラスの向うを見るようではんやりと観えるよ
うな感じです

それからピースは一枚々と集まってゆき

15才の時には立志というピース

自分は今回の人生で何を為すべきかというピースです

ボクとキミの最後のピースはビートルズのラヴ

パズルはもう全部出来上がっているのです

後は現実に現わすことフルマウということなのです

孔子様の教えには四十にして不惑と教えられる

その頃にはすべてのピースは揃っているのです

ラヴにはボクとキミの過去現在未来のすべてが明かされているのだから

現代はクリスマスのときにモノやお金でプレゼントをするよね

それは仕え尽くしもせず努力をしなくてもプレゼントは貰えるという事を魂が覚えてゆくのです

それはやがて傲慢な人間をつくりだしてゆくことになります

だからモノをくれるサンタはサンタではなくサタンなのです

そしてモミの木には鈴や色々な飾りをつけるよね

モミの木は大地に根をおろし天に向かって枝を伸ばしてゆく

それは宇宙なる神の現われの姿を表しているのです

その枝につける鈴やそれぞれの飾りはこの世界に現れた人や物なのです

鈴は銀の鈴持つ人々なのです

リン

キミはステキだね

キミに逢えて本当によかった・・・

感謝の祈りがボクの胸からコダマスル

レイ

ALL YOU NEED IS LOVE

あなたのアイがわたしのすべて

レイ

あなたにわたしの愛を

あなたの胸で眠りたい

リン

ボクはキミによって道をヒラキ

キミはボクによってメザメル

リン

キミがボクを愛する心は祈りとなる

いつもキミとボクは同時だね

そう　いつもひとつ・・・

キミが知ったように人の想いが間違っただけでも咎めだてはならないのです

言葉で言えるのはわが子の縁と子弟の縁を頂いた場合のみに許されること

後はただ運命の運びによって自らが気がつくのを待つばかりでしょう
うか

神の運びによって　　レイ

そうね

ふたりで祈ってゆきましょう　　リン

リン

ボクはキミのような存在はこの世に皆無と思っていた

キミには人にはない煌めきがある

もちろんわかつてはいるよ

キミだからこそだという事はね

でも言わずにはいられない

キミは本当に特別だね

言葉にできない感動にボクは胸がアツクナル　　レイ

レイ

わたしこそ

あなたに出会えなかったならわたしの沙漠は永遠に続いていました
あなたこそ夢にまで観たわたしの理想そのものなのです　　リン

リン・カルマとは憑依でもあるのです

憑謂は気がつかないほど人の心に巧妙に入り込んで

それは始め小さな芽のようにヒソヤカニ

そのままにしておくとかやがて芽は育ち全身全霊を操られてゆく

欲望と自己満足の世界へと

それは宇宙神との間に隙間をつくり破綻させるように仕組まれているのです

憑謂はガンのような病気に似ていて

それを見抜いている者には焚き火にちりがみをくべるように一瞬の内に燃えつきてしまうのだけれど

ほんの少しでも心動かされたならば一瞬の内に心の内にこびりつき本人の意思に拘らず心に巣くってゆくのです

現代は憑依をされていない人は存在しないといってもいいでしょう

レイ

わたしの心に巣くったもの・・・

わたしの左目が一日チクチクしていたのはそのせいなのね

教えていただいてよかった

リン

キミの左目が開いたその日から

キミは神の白洲に立たされているのです

それまであった護りはなくなってカルマの海に素のままに漂っているようなもの

天地を解明かし人の世とカルマの原因をトキアカス

それ以外に憑依から離れる道はないのです

大丈夫・ボクがいるのだから

レイ

ありがとう

わたしはいつも心配ばかりかけて

あなたに返すことばも見つからない

キヨヲナ魂を取り戻し愛する人に捧げることが出来ますように

リン

キミのナミダは憑依のカルマを解かしたことだろう
家のキッチンカウンターの窓下には小川が流れているんだよ
今朝そこに白鷺が舞い降りて来たんだ

アア

キミの事だと想っていた
でもキミがカルマの正体を掴まなければきっと同じようなことは度々起こるでしょう

女性の心はユレ易いもの

真情は心情となり感情となりやすいのです レイ

ユレ動きユサブラレル

これがカルマの支配でもわたしは受け止め受け入れることしかできない

凧いでも荒れても海はウミ

他の方法なんてわからない

もともと妻は失格のわたし

自分の家の争いさえ無くすことも叶わないのに

女としても失格・・・

この一月のわたしは自分すら制御できない

惨めで憐れな姿

それでもわたしはわたしを赦します

でもあなたを苦しめているのもこのわたし

わたしはあなたを苦しめるわたしを許すことはできない・・・

わたしの世界は色褪せて仕事にすら魅力を感じない

こんな自分になるなんて想像もできなかった

あなただけを見てあなただけを愛していたい

あなたの為の私でありたい

心に広がる想いに押し潰されてもかまわない
それが女であるというならば

わたしは生まれて初めて女の性に目覚めたのです
剥きだしの感情を抱えてわたしは一步も進めない
昨日まで聞こえていた鈴音も聞こえない

凜としてキヨヲナ自分に還りたい

揺るぎないアイで満たされていた

レイがいつも傍にいた

タスケテ神様・・・タスケテ・・・

リン

リンよく聞くんだ

キミは人類がやがて通らなければならぬ所を先駆けて通り抜けて
いるんだ

たった今この瞬間もカルマの海を漂っているんだよ

破壊しているのはキミの家だけじゃない

ボクの家も一見普通に見えてはいるけれど

ボクの目から見れば未来はないのです

これは世界中がそうなのだから僕達だけが避けて通れるものではない
だから今はしょうがないんだ

だからこそボクとキミはその身そのままで宇宙を解明かし
アイをこの地上世界に現わすのです レイ

進化のスピードはちゃんとわたしに合わせたものだったのに

勝手に焦って背伸びして慌てふためいてしまいました

アステイの泉であなたと誓ったことを忘れて・・・

本当は地球なんてどうでもよかった

あなたさえいれば他にはなにもいらないと想っていた
わたしには危機をばんやりとしか感じられないけれど

あなたの感じる波がわたしに押し寄せてくるの
だからふりをしていたのね

あなたはそのことをご存じだったから

私に入り込んだ魔に心を痛めていたのね・・・

カルマの海で溺れかかったわたしにフーフーフーと息を吹き掛けて
息吹をソソギ呼吸を助けてくれた

あなたが愛する地球だからわたしも愛するふりをしていた
いまでも本当はあなただけと想っています

でも此の頃少しか地球も愛しく想えてきたの
子供達の未来に希望が与えられるのならば・・・
わたしの進化はあなたなしでは有りえない リン

わかっているよ・リン

その今の想いが宇宙神御自身のお悩みなのです
キミの中で起っている葛藤は宇宙神御自身の葛藤なのです

ボクは妻に感謝している

そして彼女の為ならどんな事だろうとしてあげたい
もちろんキミと妻とでは天命も素性も違う

妻には機を見てキミとの事を話そうと思っています

彼女にわかって貰えるかわからないけれどとにかく話してみる

ボクは妻にはキミとのことを知ってほしい

たとえどのような展開になろうとも

仮に離婚して家族がばらばらになることになっても

お別れの日までなんらかの形で尽してあげたいと思っています

キミが以前言っていたように

20年頃にはお互いの状況はがらりと変わっていることでしょう
リン

恋という文字は天から現れた者がふたりに分かれて
天に繋がって結ばれている心と云う形に見えるよね
キミが言っていたように人が恋をする時の心は

自分と分かれた双身の君を想うところからあらわれて来るのでしょう
そして人は恋の風景にひかれ恋を求めて流離うのですね レイ

恋という文字は天から吊り下がって
ユラユラユレテ半分の魂を捜すのね
人はその想いを唄に物語にしているみたい
あなたと逢えない時間が恋心を育て
あっているときがふたりの永遠の時間
そんな気がします
永遠のときを想いあなたといつもひとつでありたい リン

3 - 2 扉はひらかれた

今朝はアイズの町も山々も朝靄アサモヤのベールに包まれています

ボクがエピソードのミスプリントを子供のお絵書き様にバインダーに裏返して挟んで

店においていたのを何故か妻が自宅に持ち帰り先程少し読んでいたようです……

それから勤めに行くまで彼女は何も言わなかったけれどこれも神の導きと思うので静観しておきます レイ

ヨコハマは雲間から太陽が見え隠れしてお陽様は暖かい
たぶん奥様は気がついているのでしょう

うまく言えないのですがわたしは何があるかと平気です
神様にお任せします

こちらでも日々寒くなってきてベッドが恋しい季節です
冬きたりなば春遠からじ

冬は必ず春となる

小さいときに習ったような

春の訪れが待ち遠しいけれど雪は好きです

アイズの冬は美しいのでしょうね リン

リン

昨夜ボクは妻にキミとのことを話したよ

彼女はさめざめと泣いていた……

キミとの事を断ち切るように求めてきたけれどボクは応じなかった

キミとボクは特別な関係であるということ

ボクを許せないのはボクを結婚という鎖で縛り

夫なのだからという想いの手かせ足かせをつけてボクを所有したい

という心なのだと

自分の安心できる範疇でボクを自分の自由になる都合のいい存在として

置いておきたいのだということを彼女に伝えたよ

ボクは妻にいつもこう言っていた

夫婦とはお互いの翼となり雨を避ける傘となり

歓びをともにわかちあうもの

けして相手の自由な意思を奪うものではないと……

だからボクは妻が人として成長し真の幸せに向かうのならば

どんなことも認めてきたし

どんなこともしてあげたいと思い考え行動もしてきた

ボクは夫婦でも別々に恋人がいてもいいのじゃないかと以前から彼

女には話していたよ

夫婦も数年経つとお互い馴れ合いになりすぎて

恋する心など相手に持てるはずもなく

只に生活の為に人生を謳歌する為に費やすようなことになってしまっ

てもボクは違うと思っている

人生は自分をこの世に現わしておられる存在の為にある

その為に自己を研ぎ高めて成長し

やがてその役に立つような自分になることが大切なのだと

ボクは20数年美容師という仕事をしていて

女性が美しくなることの根本を発見したんだ

それはエステに通うことでもなくスポーツクラブに行くのでもなく

サプリメントを飲んだりするのでもない

それはね

恋のチカラ

恋する心は人を成長させ美しく若くさせる

人生に喜びと感動をもたらしてくれる

結婚した相手にその恋心を持ち続けられればいいのだけれど

それは不可能だということをボクは知っている

だから妻にはボーイフレンドをつくりなさいと言っていた
色々な男性とおつきあひすれば勉強になるし

そのほうがこれから年をとっていつてもステキな人生になるよね
年をとって必要なのは友人

ボクという存在だけでは妻の心は動かないのだね

あまりに身近すぎてボクの話は聞かないし

化粧もしなければ痩せてきれいになろうとも思わないのだから
でもボクは努力し続けてきたよ

何とか妻にわかってもらい美しくなつて人生を価値あるものにして
もらいたくて

結婚して10年はほとんど2日空けずに妻を抱いてきた

それすら人にはなかなか出来がたいことをボクは知っている
でも妻はそれを当然と思っているのだね

ボクはキミと再び出逢いキミと愛しあつてから

ボクが想い考え感じてきたことが間違いでなかったという事を確信
したよ

キミとの事は妻にとつてもいい機会だと思っています

ボクはこれを機に彼女が成長する事を願っています

15年間妻は夫婦でありながら一度もボクと会わずボクの話の聞いた
こともない

でもそれを言葉で言つても本人には解らないだろう・・・

未熟は罪ではないけれど

自らの怠惰に任せて自己の成長の努力を怠り

未熟をそのままにしておくならばそれは宇宙の中では罪なのです

ヴェネチアの頃の館とキミがいるワカヤギさんの居宅の光景が
ボクの記憶の中で重なる

彼の母親と後から入れた女性

今の家の場所もヴェネチアの時のように埋め立てが進む以前には
港に海が見えていたのではないだろうか

レイ

ミナトミライが出来る前は三菱重工があり

船に携わる方々でここは栄えていたそうです

地図は見つけられなかったけれどその昔は海の近くだったようです
造船所の波止場町で船の行き交う港の町

わたしはこの家の屋上でカラダを埋められて首だけさらされて生きて
きました

ワカヤギさんの姉がヴェネチアでの彼の後妻

嫉妬深くわたしを虐待していた……

彼女も同じです

六年ほども前になるでしょうか

わたしがワカヤギさんと別れるために家を出ていたとき

ボクを心の夫にすればいいのですよ……とあなたは言いました

わたしはあなたが言われたようにワカヤギさんと何度も話しをして
壊れた関係を作り直し

子供達のためにも家族の為に幸せになろうと決めて

戸籍上は離婚をしてワカヤギさんの家に戻りました

あなたの言葉はいつもわたしの胸に……

ワカヤギさんをあなただと思い生活してきたのです

今ではワカヤギさんの姉からもありがとうと言われることが増え

ワカヤギさんは復縁を求めてきます

もちろん応じるつもりはありません

子供達の育ちを見守り

愛から平和が生まれるということを教え大切にしてきました

この家でのわたしの役割はもうじき終るでしょう

あなたと出会

今のわたしはとても平安で穏やかなのです
地球に生まれてよかったと自然に宇宙なる神様に
祈っている自分に少し驚いています
わたしはワカヤギ家から認められ
わたしもすべてを許しています

わたしのカルマはやがて消えてゆくでしょう
ヴェネチアの後の残虐非道な行いも
たくさん剣で切り刻まれた夢を観た時に神様がお赦しくださった
と感じました

あなたとわたしを引き離すことはもう誰にもできません
奥様は私の事をお認めにはならないでしょう
奥様が望まれるのなら奥様の剣でこの胸を刺し貫かれてもかまわない
言葉はもどかしく

うまく伝えられたかわかりませんが
わたしのことは大丈夫です リン

リン

キミの心の言葉が聞けてボクはうれしい
妻も今は動揺しているけれどきつとわかる時が来ると思う
エピソードの今までのものを妻に全部読んでもらおうと思っています
ボクは時間をかけて説明してゆこうと思っている
いつか妻にキミを紹介できる日が来るように レイ

奥様もきつとおわかりになるときがくると信じます
神様の御心のままに・・・ リン

あなた
私の心は悲しみでいっぱいです
でも生き続けなければいけないのです

それを知りながらも彼女と結ばなければいけないのですか
彼女を失う悲しみはきつとあなたにとって死よりも辛いことと思います

私は死よりも深い悲しみのなかで助けを求めています マサミ

マサミさん

キミが夢で見せていただいた鎌倉の時代のボクが僧侶であるときも
キミは何ひとつボクに道を尋ねてはこなかった

キミは女としてのありきたりな幸せだけに満足と不満足を覚えていた
でもボクはそれでもいいと思っていた

やがてのうちに気がつくことを願っていたのです……

ボクはその時からずっと胸を痛め続けキミの成長を願っていました
これからは本当の話がしたい

今までの夫婦の対話は連絡と報告

後はキミの愚痴と弁解をボクが聞いていただけでした
ボクはキミと真実の話がしたいのです ハルキ

私はそれらのことすべてが夫婦だから当然と
それがわたしの日々でしたから マサミ

いまキミに見せる物語を印刷しています

今まで本当のボクを15年間キミに話した事はなかった
でもキミには知ってほしい

もう少ししたら帰ります ハルキ

リン

妻にエピソードを読んでもらったよ
いろいろと話した

彼女はキミに対してもう嫉妬する気持はないと言っています

キミのアドレスを教えてほしいと言つので教えてあげようと思います

妻の守護霊様は近頃ずっと

逃げてはいけない

逃げてはいけないと彼女におっしゃられていたそうです

妻は鎌倉の頃のボクが僧侶であったときの名をタマヒと云うそうです
その時代僧侶が妻帯することは世間の避難をひとつに受けるような
スキャンダルでした

二人の間には一子を恵まれたのですが

世間の波風は強くやがてボクはある事件によって北の庄越後に流され
妻はその間に都にて若くしてその生を終えたのです

彼女は十年ほど前にその時の事を守護霊様に夢で見せていただいて
います

彼女はきつとこれから真実の人生を歩んでゆくでしょう

成長されることを祈ります レイ

わかりました

向き合う覚悟になられたのですね

わたしは待っています リン

リンさんと呼んでいいですか

昨日まではたくさん泣きましたが今は落ち着いてきました

聞きたいことがいっぱいあるのに何を聞いていいのかわからないの
です

エピソードを読んでおふたりが私にはわからない

まだわからないところで真剣にお逢いしていることだけはわかりま
した

私の存在はあなたにとってどのように映っているのでしょうか

マサミ

マサミさん

あなたのお仕事もナースだと伺っています

ナースの仕事はそれだけで菩薩業だと亡くなった母が言っており
ました

私達はたぶん似た者同士

そんな気がしています

家族ぐるみでお会いしていたならば

私達は姉妹のような友達になれたのではないでしょう
か
許されるならばあなたにお会いして語り合いたい

人はそれぞれに自分の登る螺旋の階段があつて

それは時々踊り場で交差してゆく

その巡り会いは神様の決め事

あなたとわたしの出会いはこのような形だったというだけ

お話しができたことをとても嬉しく思っています

あなたの優しさに感謝しています

ありがとうございます リン

リンさん

いずれお会いする日が来ることは胸の響きより感じております

先程あなたの写真を見せていただきました

また嵐のごとく嫉妬と憎しみの波にさらわれるのではないかと思
い
ためらいもありましたが

やはり見なければと思いました

目の光の強さ

そこから出るものは夫と同じでした

もしもあなたにほんの少しでも女の生なましいオトウサマものを感じていたら

私は心を失いやつと近頃お会い出来た守護オトウサマの方を失うところでした
見てよかった・・・どこか夫と似ているあなた マサミ

レイ

わたしは恥じています

地球に生まれることができたのはわたし自らが望み
神様がお認めになったからなのです

あなたの奥様とお話しをしていて気づかされました
神の計らいに感謝しています

あなたが以前ふと呟いたこと

もしも21年前にあなたと出逢っていたなら

そうだったらあなたの奥様やワカヤギさんや子供達を傷つけること
はなかったかも知れない・・・

でもあなたもわたしも今の家族なしでは有りえない

出会いの順番は定められた道

過去に向き合いカルマを解き明かし天のツトメをはたす必要があっ
たのですね

あなたの奥様の強さと優しさに感動しています

あなたの奥様の健気さがわたしの胸に染み入ります

わたしもまた少し大人になった気がします

レイ

あなたはなんて・・・アア神様

わたしはレイに相応しいのでしょうか

リン

リン

神が導きなさしめたもうのであって

ボクは只の器にすぎない

キミの祈りが天地に鳴動しマサミさんの心をも動かしているのです

レイ

あなたの教え導きがあればこそ

自分の至らなさに泣けてきます

リン

リン

これから家族に

そしてふれあう人々に尽してゆきましょう

これからは彼女の成長の為に助力してくれるね

レイ

はい

わたしにできることを心尽してお役に立てるように務めます

リン

リン・ありがとう

今日はおやすみ

明日もきつと忙しいからね

レイ

おやすみなさい・レイ

神様の心に擁かれて

すべての生きとし生けるものに真実のアイが伝わりゆきますように

リン

昨夜奥様は安らかにお休み出来たでしょうか

わたしの中に埋れていた何かが目覚めたような

そんな気がしています

リン

彼女は心懸けが少し変わり始めたようです

今は辛い思いもあるでしょうがやがて真実の歓びに目覚めてゆくでしょう

キミのおかげだね

彼女はエピソードを読んでキミという存在とキミとボクの関りあい
に心打たれたのです

エピソードにはやがて人が歩むべく命の真実が明かされているからね
妻は求めあいから与えあいへの道に変わり始めているようです

レイ

未来への扉が開かれたのですね

心からの祝福を贈ります

ワカヤギさんの身の上にも変化があります

目に見えない大きな力が働いている気がする
と本人が話していました
時期がくればあなたとのお話しようと思っています

リン

そうだね

きっとその日は来るでしょう

彼も大切な家族なのだから

レイ

ええ

大切な家族

リン

リンさんにメールをしたのはすれば何かがわかると思ったからです
したほうがいと守護^{マスタ}霊様から言われました

リンさんの語りかたがあなたと同じでした

メールをする時に私の心は波ひとつなくそんな自分にすこし驚きました

私の心は定まったようです

まだ頭ではいろいろ考えてしまいましたが

これがカルマなのでしょう

昨夜あなたに抱かれていながらもあなたの目をみるのが怖いような
なにひとつわからない自分とリンさんとあなたの愛しあう姿を想い
裏切られたという哀しい悔しい思いが涙になり流れました

心と頭と体が別々に分裂しているようです

マサミ

マサミさん

キミの戸惑いに無理はありません

キミはリンにメールをしなければならなかったのです

ズタズタになった様な胸のうちで決意したことを確認するためにも
リンはあの後ボクにメールをくれてね

涙しながらキミに報いる事を誓っていた

彼女も成長したよ

そしてキミの心には人を恋しみ慕うという真心が芽生えはじめたね
カルマがあるうちは嫉妬心やボクが自由にならない思いに苦しい気
持になることもあるでしょうが

そんな時は『ああ神様 未熟なワタシをお許し下さい』と祈るのです

アイは競いあうものでもなく専有するものでもありません

ただ与えつづけ尽くし続けるだけでいいのです

キミの心が散り散りになっているのは

ボクが自分の思い通りでないと気が済まないというカルマの崩れ散
る感触

そこにはやがて朝日が射し込むように神の心が人を恋しむ心が育ま
れてゆくことでしょう

守護の神霊も喜んでおられます

レイ

私はリンさんに妻としての居場所と役割を教えていただいたように
思います

今は少し感謝しています

メールの際にはお伝え下さい

マサミ

リン

妻はボクにメールでこう言っていました

キミに妻としての居場所と役割を教えて頂きました

感謝しておりますと

レイ

わたしはこれから娘二人と買い物と映画です
子供達のリクエストで今夜は外食

奥様は健気で素直な方ですね

ヨコハマは一日晴れわたり

神様の祝福に感謝しながら

あなたを想い優しい気持ちで過ごしています

リン

マサミさん

鎌倉の頃ボクが朝廷の命により越後に配流している間に

キミは病をこじらせて命を落としたのです
そう

父君の後を追うようにして……

キミが言っていたように昨日キミは一度死んだのです

そして生まれ変わりこれから真実の人生を生きるのです

形ばかりで一生涯心あわぬ人生がよいか

心通わせ温めあい成長しあう人生がよいか

玉日の玉は宝のこと日は神を現わすのです

神宝はキミが最初に頂けるのではないでしょう

ハルキ

胸の痛みはおなじでも今は一人ではありません

御父様に見守られています

必ずや本当の女性になることを教えて頂きます

タマヒの心とともに マサミ

マサミさん

想いや感情は魂から流れてくるのです

それは過去から現在までの想い行いの積み重ねでもあります

それが魂の癖習慣となりカルマを育てるのです

それをそのままにせず自己の意思の力をもって躰てゆくのです

出来ないことを悔やむのではなく出来るようにしようとして
苦しくても辛くても正しくありたい

真実の道を歩みたいと願うその心が祈りとなり

その涙がカルマを解かしてゆくのです レイ

3 - 3 マサミさんの変化

わたしはニュースを見聞きして涙を零すようになったの
事故や殺人

民族紛争に飢餓

汚職にいじめに災害・・・

しばらくは見ないようにしていたけど辛いの

このままではいけない

神様の嘆き悲しみが伝わってくるようです

レイ

あなたに逢いたい

あなたの胸のなかにわたしを置いてください

リン

世の嘆き悲しみ苦しみ傷みはそのまま宇宙^{ソラ}なる神のお苦しみ

そしてカルマの現れ消えてゆくスガタ

オミナなるキミにはそのままに響いてくることでしょう

だからこそボクはキミの身と心を愛し慈しむ

すると地球上のそれは少しずつ癒されてゆく

キミの右の目に宿る怒りと悲しみはボクが代わろうと云うのはそこ
なんだ

だから僕達は応えあう

キミとボクは逢わなければならなかったんだ

キミの胸の傷みはキミにもつきとめられぬものがあるでしょう

その傷みの響きはボクの胸にも響いているよ レイ

愛をあなたに

あなたとともにこの身と心が神様のお役にたてますように
ありがとう・レイ

離れていてもあなたとはひとつ

あなたの胸をおかりして今夜は休みます

リン

マサミさん

今朝は朝日が雲を抜けて光りの御柱が遍く降っておいりました
キミのいるところの上だね

キミの決意が決心になった事への天地と宇宙の神様の祝福でしょう
フォトを送るよ レイ

朝の写真ですね

私も青空を覆う薄雲を割って光りが降りそそぐのを子供部屋から見
ていました

その時に階段をひとつ昇れたのかなと思いました

和室の窓から射し込んで来る光に胸の誓いを申しあげたら

太陽の光が揺れ始めて

それはやがて緑色に変わり何度も何度も揺れていました

外は黄金色となりすぐ近くから山の方へそして空へそして太陽のほ
うへと拡がってゆくようでした

これはどんな意味があったのでしょうか

マサミ

キミは今朝

ボクの話しに耳を澄まし心を澄まして聴いていた

その後も繰り返し繰り返し返して考えて意味を理解しようとして心で反芻して
いた

するとボクの心が感じられて

今まで聴こうとしなかった自分への悔いと神様への詫び心がキミの
流した涙だった

そして誓いの祈りをキミはしていたね

朝の光はキミへの祝福だった

その後の光の戯れは守護の神霊のお父様が喜びの涙をつつと流されて
扇を手にとさし舞いを舞われておられたのです

そのお姿が緑色の光の彩どりになっていたのです

レイ

クリスマスイブの夜が静かに更けてゆきます

心ある方々の幸せを願って今夜は鈴の音が思われます

鈴はクリスマスに欠かせない大事な宝物

生きるは潮の満ち干きのようなもの

潮が引いた時に現われる珊瑚のように

迷い無き世界があらわれて来るといいのだけれど……

わたしの理解の遅さは天然ものですので笑って許してくださいね

リン

リンはボクからプレゼントをもらう時をずっと待っていたんだね
神の心・エピソードと云うプレゼントを

今宵はマサミさんにもプレゼントが届くのではないだろうか

レイ

エピソードは最高の贈り物

わたしの痛みや哀しみの意味を教わりやわらげ癒してくれるのです

あなたがおっしゃったように家族とふれあう方々の平安を祈って

わたしはイブを過ごします

真実のアイと永遠の命に感謝して

リン

リン・今宵もキミへの愛しさを平和の祈りとして

皆様が神の贈り物を胸に宿されますように

レイ

あなたがリンと言うとすぐ側にリンさんがいるように感じていました
想いの細波に心が苦しくなりました

まだ胸の内には消すことのできない想いがあるようです

これがあなたを思いどおりにしないと気がすまない

私の傲慢で横暴なカルマの想い……所有欲と嫉妬心なのです

あなたに教えていただいたお祈りとお父さまが私の心を支えてくださいました

今日はお父さまがまるで幼子に教えるように手とり足とりと事細く導いてくださいました

私はタマヒの頃のように素直にしてみました

陽の光りあなたの光りを受けて耀くようにと

流す涙は次へのステップと私の心に唄のように流れています
もう少し甘えてもお許しただけるようです マサミ

キミは女性なのだから神様に甘えてもいいのですよ
本来は身と心を委ねるといふフルマイを甘えると云うのです
命をかけるということ

キミは導かれやがて本当の自分に気がつくでしょう

今宵はキミのもとへも

サンタからのプレゼントが届くのではないでしょう

ハルキ

おはようリン

今朝の太陽は夏のように力強く輝いておりました
前の2通は妻とボクの昨日のメールです

彼女のところにもサンタはやってきたようです

月ノ輪の君は妻が玉日姫のときの父君です

今は妻の御守護^{マスター}をなさっておられます レイ

あなたに魂を寄り添わせあなたの言葉を心でお受けになられたので
すね

燦燦と 照り輝ける日を浴びて 天地に顕す玉結び 玉のスガタに
幸あれと 祈り祈らば鳴り響く 響き渡るはウツシ身の 人の輪紡
ぐ鈴の音かな リン

キミが紡ぐと唄にするのは

神は縦系と横系を織りなすように宇宙の無限創造オオタマツクリを成しえてゆくからなのでしよう

神の縦系と人の和の横系で無限創造という布を織りなしてゆくのです
先程の雲の動きはキミの唄のそれを現わすものでした
宇宙なる神が地球の天地にあいあう相スガタ

始めに山々の上に横一直線に雲が現われてその上にエックスの雲が現われた

さらにエックスの雲は直線の下に下がり山々に沈み直線の雲はやがて分かれてふたつの直線になるのです

他の山々には祝福を表わす雲がわきあがるように溢れてくるのです
エックスは宇宙なる神様を表わし直線は地球神界を表わすものでした
山々は現われの地球世界

宇宙なる神は近頃地球世界に同化なされたようです

新年の一日は宇宙なる神様の宣言がなされ

二日から三日にはキミとボクが人の世のめでたさを祝い現わすこと
でしょう レイ

縦横無限に織り成す糸を手繰り紡ぐ・・・

織り成す布の出来栄えを神様は喜んでくださるでしょうが
私に訪れた新たな成長の兆しを心静かに受け止めています

神様のお志を受けて天地を結びあわせることが大切なのだと思えて
くるのです リン

リン

神の志はボクを通してキミに流れキミはそれに応える
それは天地の結びあわせ・・・それがアイ レイ

3 - 4 ワカヤギさん（前書き）

蝉

3 - 4 ワカヤギさん

リン

ワカヤギさんの事は神にお任せだよ

彼は時の流れの中でやがて変わってゆくのだからね

若柳の 未だ幼き草木は 神に揺られて大樹とならん

天地の 家族連ねて道ずれて 歩む^{ソラ}大道^{ソラ}宇宙の^{ソラ}杣道^{ミチ}
今も様々な雲が現われています レイ

ワカヤギさんの事はわたしにどうにかできると以前は思っていたの
彼を変えられるのはわたしだけと・・・
今はただ神様にお任せします

レイ

あなたがわたしの心を明るく灯してくださいるのでカルマの家でも迷
子にならずにすみませう

月も太陽も雲に隠れている時でさえ
いつも私達の頭上で照らして下さっておられるのですもの
マサミさんもきつとお気づきになられるでしょう リン

レイ

ワカヤギさんにメールを送りました
彼の気持に伝えられないこと
真剣にお付き合いしたいと思っている人がいることを・・・

宇宙^{ソラ}の道 若木草木がいつの日か 大樹となるよう祈り祈って
そうしたらまだ帰れないけれど帰ったら話をしよう

ワカヤギさんからメールが入りました

彼の心が開きますように

わたしも心を尽くします リン

リン

ワカヤギさんにも機をみてエピソードを読んでいただく レイ

そうします

彼はわたしが悪い熱を出したぐらいにしか思っていないようですから
彼に真実に向き合う勇気があることを願います リン

神の導きが彼の上にも現われますように

ボクは何時でも彼に応えるつもりでいます

ボクに聞きたいことがあればいつでも

ワカヤギさんのメールを待っています レイ

ハイ レイ

待っていてね リン

ワカヤギさんとお話しをしました

これから彼はあなたにメールを送ります リン

ワカヤギです

トモミから聞きました

トモミを助けてくれてありがとうございます

これから宜しく願います

いろいろあったようですがこれからもボクはずっとトモミを守って
いきます ワカヤギ

ワカヤギさん

あなたとは前に一度お会いしていますね
エピソードはお読みになられたでしょうか

その中に書かれているように彼女にもボクにも
そしてあなたにも私の妻の上にも生まれる前からの天命使命があり
ます

私も妻を持つ身ですからあなたの心は少なからずわかっているつもりです

機会があればお会いして話したいとも思っております

是非機会をいただければと思っています ミカワハルキ

是非そうしましょう ワカヤギ

新年は2日にヨコハマに行きますが御都合はいかがですか
ミカワハルキ

いいですよ ワカヤギ

では2日の午前中にもお会いできればと思います
時間等がはつきりしましたらまた御連絡いたします
ハルキ ミカワ

メイシア

ボクは2日の午前中に彼に会うとメールをしたよ レイ

わかりました

わたしも一緒のほうがよいでしょうか リン

彼とふたりで話しがしたいと思います

彼もそう思っているでしょう レイ

そうですね

わたしは待っています

リン

レイ

ワカヤギさんの心の扉は少し開かれたようです

マサミさんがおっしゃったように始めの一步

彼はわたしの心の痛みを引き受けることはできない

それ以外のことならなんでもできる

わたしの命をあなたが救ってくれた

そうでなければキミは死んでいたかも知れないな

そこは感謝する

魂の結びつきは認めるが体の結びつきは必要ない・・・と

わたしは彼の正直な想いを受け止めました

2日の日はあなたと逢わずに帰って欲しいと言われましたが

わたしに必要なことだと神様が認めるならば誰にも止めることはできないでしょう

ワカヤギさんはエピソードをパラパラとめくり見ていました

真意を掴むことはまだまだ無理のようです

神や魂のことはわからないと言って一応わたしが逃げない程度に話を合わせたところもあるようです

でも子供達には自分から折をみて話すと言ってくれました

私達は初めて夫婦の関わりを味わったような感覚でした

わたしはあなたとマサミさんに支えられ見守られて穏やかで幸せでした

彼も話してくれてありがとうと言ってくれた

レイ

彼の惑いは人類共通の惑いです

彼が真実を見つめてボクにその疑問を投げ掛けて来るようならば世界は大きく変わるでしょう

彼は盲いた目を見開き真実の階段の扉が啓けようとしている所です

彼はその扉の取っ手に手を掛けているところを
キミが彼の背中を押して促している感じだね

エピソードには不思議な力があります

神の光に撃たれるようなものです

それはまた真摯にうけとめる事がなければ
網の目から落ちる事にもなるのです

だからこそボクは2日に彼と会って話をするのです

彼を網の目から落とさない為にも レイ

1月2日はワカヤギさんの誕生日でもあります

彼が本当の誕生を迎えられるように祈ります リン

マサミさん

キミの言葉は弁解と言いつつ

人の役にたち支えるのは議論でも忠告でもありません レイ

リンさんが鈴のお話をメールしてくれました
せっかく私の為に送ってくださったのに嫉妬のカルマに吞まれているわたしは

リンさんに感情をぶつけてしまいました
あなたを傷つけリンさんを傷つけそして自分をも傷つけていました
自我を見ているから想いに執りつかれるのかな
すぐとなりにはあなたはいるのに

遠いのは私の心かな

あなたの痛みはリンさんでしか癒えないの
みんな誰かにわかって欲しいと思っていますのですものね
たくさんの贈り物を戴き私の心は満たされているのになぜか失望感が
そして虚しさが雨となるの……

これもあなたを思いどおりにしないと気が済まない私のカルマなの

ですね

この雨が一滴のこらず私の畑の滋養になりますように マサミ

マサミさん

切なさは後にカルマを破り神の世界に突入する時の力になります
今は味わって自分が何をどのよう to 想い感じ考えているのか
その正体をはつきりと掴むことです レイ

アイは人を守り育て慈しむ

欲のない無限のアイが心に響くときに平安が生まれるのではないで
しょうか

相手を縛り踏みにじるのではアイとは呼べません

別れは成長の過程の中に必要なこともあるのではないでしょう
かだからといってお互いの夫婦の絆が無くなるということはないと信
じます リン

リン

マサミさんはたとえ夫婦であつても相手に所有権を行使することは
己の奴隷とすることに等しいと気がついたんだ
でもマサミさんの中にある想いは理解とは裏腹にキミを打ちのめす
のだね

キミへ嫉妬する心がね

やがてマサミさんも気がつくでしょう レイ

リンさんごめんなさい

私はわからないのではなくわかりなくなつたのですね
ワカヤギさんの事であなたへの憎しみと嫉妬心を重ねていました
私には越えなければいけないものがとても多すぎます
タマヒの心はまだありますか

お父さまの声も今は聞こえない

私は誰かのために役立ちたいと思っていました
横浜ではセンターで働いていました

大変でしたが育む心を学びました

結婚は自分が幸せになりたいと思っていました

どうしてすぐ目の前にいる人の心をみなかったのか言葉を聞かなか
ったのか

私は自分の醜い想いのなかにいるようです

扱えない心があります

どうぞ神様のお心を感じとれるようになれますように
真の祈りとなりますように

私は夫に教えを受けリンさんのお言葉で実感するようです

素直にまさる知恵はなしとお父さまにいただいたおことばです

今日まで忘れておりました

今日一日申し訳ないと言う気持ちでいっぱいでした

帰りの車でタマヒの心はどこへと唄があらわれて来ました

一天の 澄み渡りたる大空に 父母の家あり帰る道あり マ
サミ

あなたの存在は確かで大切なものです

あなたがハルキさんの奥様という事実は今も変わらず替わるもの
でもありません

わたしからみた存在というのではなく人はみな望み望まれてこの世
に生まれ

神様からいただいた役割を果たしていることが人の在り方
存在なのだと思うのです

あなたの中に生まれた種は神様からの贈り物

やがて蕾となり美しい花を咲かせることでしょう

アイの種はアイでしか育たないということを忘れてはなりません

あなたが心を見つめなおし素直になるということは
文字通り自分のために生きるのではなく自分以外のために自らをイ
カスコト

愛する人の幸せを守り抜くこと

あなたの胸にアイは芽生えましたか リン

本当の幸せをしらなければと

今を逃したらもう後はないと

今はアイを知るためにお姫さまを捨てて汗だくとなり畑を耕してお
ります

やり方がわからず四苦八苦しておりますがその畑にはお陽様が燦燦
と優しく照らしてくださいます

きつとアイが芽吹く事と思います

種をいただいた方の為にも惜しみなく汗をながします マサミ

あなたの心にも神様のアイが現れているのですね

神のみ心に魂を委ねて安らかな眠りをあなたに リン

ありがとうございます

メールをいただいた同じ時間にリンさんの事を想っております
私にとって夫とあなたはふたりではなくひとつなのだと信じます

マサミ

マサミさん

あなたの深い思いやりに感謝のことばがみつかりません

あなたの胸の内に広がる哀しみから生まれた愛をわたしは確かに受
け取りました

ワカヤギさんにもきつと伝わると信じています

陽の光りはいつもあなたに降りそそぎ

月の光りはあなたの夜道を優しく照らしています

あなたの優しさに感謝の想いを捧げます

苦しいのは始めの一步で後は導かれるままにとワカヤギさんにメールを送りました

私がそうであったように

ワカヤギさんも幼さゆえに本当のアイを知らないだけで

真実を求める心は同じだと思っています リン

昨日の空はさながら一大絵巻物のようでした

それは星の天位上昇最終場面の様子を表わしたもの

2日の夜にキミに伝えよう レイ

ヨコハマは冬の嵐

マサミさんの迷いが響いています

そしてワカヤギさんの心も吹き荒んでいる様子

マサミさんがご自分を愛し許すことができるように祈っています

リン

ワカヤギさんへ

エピソードはご覧になりましたでしょうか

読んでいただけたならそれが思いつきや空想で書けるものではない事に気づかれたことでしょう

すべては事実なのです

読まれて何か感じる所がおりでしょうか ミカワハルキ

こんな遅くにごめんなさい

あなたと再会できた嬉しさにアミミから焼酎が届くと思います

長野の友達に送るとき一緒にアイズにもと妹に頼んでしまったのです
どうか奄美世の雫をおさめてくださいね リン

長野はボクにとっても縁あさからぬ所です

今朝ワカヤギさんにエピソードを読んで感じる所はありましたかとメールを送りましたが返答はありません

ボクはけして彼を網から落ちるような目にはあわせたくないと思っています

彼がエピソードを心で読んでくれる事を祈っています

奄美世のシズク楽しみにしています

妹さんにもよろしくお伝え下さい レイ

よかった

わたしも彼に過去に向き合い未来へ進むためにも今が大切とメールをしました

もう一度エピソードを心で読んで欲しいとの願いを込めて・・・
彼自身へ贈られたメッセージに気がついてくれるとよいのですが
わたしは2日の日までさりげなくしつつ見守ってみます リン

ワカヤギさんは受け入れることの出来ない現実言い訳したりわたしをお荷物に仕立てる事で優位に立とうとしたり

彼にはあせりが見られます

なぜ人は愛されることに慣れてしまい愛することに心を込めることが出来ず

我を忘れてその身を砕くのでしょうか

不可思議な存在

ワカヤギさんは何処へ・・・

たぶん本人にもわからないのでしょうか リン

人は神の白洲に立たされると言い訳と弁解に尽きるものです
己がいたならなさ愚かさ浅ましさに気がつく事が真実の扉を啓く力になるのですが

親鸞上人にして我は罪惡深重の凡夫なり心は蛇蝎のごとしと言われているのです

外はそぼふる雨

きっと彼の心境をあらわしているのでしょう

彼からのメールがボクに来たときに

彼は扉の取っ手を掴むことになるのでしょうか

レイ

本当にそうね

人の幸せを願い平和を祈る事の難しさ

外の嵐は荒れ狂い神鳴り様が轟いています

リン

マサミさんとキミのやりとりは現世のものではなく神世のものとな
つてきているね

だって・愛人的存在のキミと妻のマサミさんのメールのやり取りは
およそ世間の人達には考えられないのではないかなあと思います

レイ

マサミさんはプライドを鋏に変えて畑を耕し種を撒いて実らせよう
としているわ

うーんわたしもかわいくて愛しくて……

レイ・あなたがわたしにくださる愛

愛が私をそうさせるのです

リンの吐息が聞こえますか

リンはシ・ア・ワ・セ リン

キミの唇と吐息がボクの頬に感じられる

キミに早く逢いたい アルテシア

昨夜はアイズでは今時期には珍しい激しい雨と風が吹きあれていま
した

ワカヤギさんの心の内を表わしている様な嵐は

木々に僅かに残っていた枯れ葉を見事に吹き飛ばし

木々は枝のみの姿になりました

ワカヤギさんの働きはカルマの残骸を一夜にして一掃するところにあるようです

やがて春になると新芽が芽ぶくように

アラタマの御世が現れてくる事でしょう

中には進級出来ずに未だ幼い星に転生して

やり直さなければならぬ方々もあるようですが……

4 - 1 神あそび

杣道^{ソマミチ}は山から木を切り出すときに創られる道

ヤマは大宇宙の真ん中の一番尊い所という意味です

木は宇宙なる神の現われの姿を表わしているものです

キミとボクは大宇宙の真中から顕れてこられた神の御前に続く

人類がやがて通るべき道を創っているのだね

宇宙に繋がる杣道を レイ

今日の大陽は一段と力強く光り輝いています

空の迷い雲たちがたじろぐほどに

今夜は事業団の研究大会でしばらく圏外に入ります

夕方には龍王様が訪問なされたようです

あなたとわたしの創る杣道をご覧になりに来られたのかしら

わたしは今日一日あなたに擁かれている様な

熱い感覚に胸がフルエティマシタ リン

ボクも同じだよ

キミの温もりがキミの切なさにフルエル胸が・・・

キミとしばらく離れていると息が苦しくなってくるような感じで堪えられないんだ

キミの胸の切なさはボクの鼓動を激しくする レイ

ねえあなた

ちよつとだけワガママを聞いてくださる・・・

わたしあなたの左のポケットに入っている携帯電話になりたいの・・・

・ リン

それじゃあボクもキミと一緒にポケットに入っていよう レイ

ウン それでは今夜も枕にあなたの腕を貸してくださるかしら
リン

腕だけでいいの レイ

それじゃあ胸も リン

ボクのすべてを運ぶよ レイ

それならわたしのすべてをあなたに任せるわ
あなたのすべてをわたしに委ねてね リン

ボクはキミにすべてを委ねよう レイ

レイ あなたを愛しているわ リン

リン
キミはボクのすべて レイ

レイ
あなたが私のすべて リン

リン・愛している レイ

私も・・・

レイ・・・リンは今夜あなたのポケットで寝るかも リン

じゃあポケットを大きくしておこう
そうしたら本物のキミが入って来るかも レイ

あなたの胸のポケットであなただけを感じてね リン

アステイのキミが還って来たようだ レイ

あなただけなもの

わたしの指も手も胸も髪も

わたしはあなただけのもの リン

リンはボクだけのもの レイ

私を捕まえて・レイ

わたしは空にいるかも リン

空なら空に

たとえ海の底でも今度は必ず見つけるよ
だって必ずキミのしっぽが見えているもの レイ

ホント?!

なら雲の中でわたしはウサギになる リン

たとえキミが雲と同じ色のウサギになってもボクは必ず見つけるよ
ボクには秘密の力があるもの

愛するキミがどこへどんな所へ行っただとしても

ボクはきつと必ずキミを見つけたしてキミを抱きしめるの・チ・カ・
ラ レイ

レイ・レイ

もうリンは降参するわ

でもこんどふたりになるときはあなた・・・覚悟はよくて リン

ボクは何時だってキミに命をかけているよ レイ

レイ

もうリンはあなたなしでは生きていけない
わたしをあなたの

ウーン・エーと・ウーン

あなたのお嫁さんにしてください リン

リン

キミは永遠の過去から永遠の未来までボクの恋人でありお嫁さん
恋という文字そのままのね

お互いを見失ったような過去もすべては神の贄だった
普通ならそこで終っていたかもしれない

しかしボクとキミは再び出会った

そしてそれがキミとボクの絆

音叉だっただろうか

ほらピアノの調律に使うもの

僕達はあのように上だけ見るとふたりに見えるけれど
シッポは繋がっている レイ

レイ

それならあなたが隠れてもわたしはすぐにわかるわ
あなたはわたしの頭だものね リン

ボクはもうキミを探しはしても隠れはしない
だってもうキミから永遠に離れないとボクは誓った
だからさっきの力を頂いたのさ レイ

レイ・・・・・・・・

あなたは永久不滅

あなたへ真つすぐにわたしの心とこの身と命をあなたに
わたしのすべてはあなたの・・・・あなたに・・・・あぁなんて言えば
いいの リン

リンはボクの心を癒してくれるね
だって壊れそうになる頃にこうしてメールをくれるだろう・・ボク
の女神様
ワカヤギさんからは音沙汰がないけれどエピソードは読んでいるこ
とでしょう

おやすみリン

愛しいキミ・・・・・・・・

心の片隅に

暗黒の空から雪になれぬ冷たい雨が降る
雨は永遠に止まぬもののように瞳を濡らし心を闇へと誘う
けれどリン

キミはただヒカリを見つめていればいい
やがてヒカリは彼の心を朝日が昇り大地を照らすように照らしてく
れるだろう

キミをボクの全身全霊で包みながら抱き眠る

もうこれからはキミの悲しみはボクが引き受ける約束だよ

キミはボクの胸でただ安らかに眠るといい レイ

あなたのアイに照らされてわたしは永遠のアイを誓います
わたしの中の女神がヒカリとなり人の世を照らすことができますよ
うに リン

4 - 2 マチガイメール

キッチンカウンターの窓下の小川に二羽の番の白鷺が羽を休め睦みあっていました

白い動物は神の使い

キミとボクのカムアソブスガタ

レイ

朝から大惨事が起きました

通勤途中のバスの後部にバイクが挟まれて人が下敷きに胸にせまる悲しみの涙・・・

リン

この世の方々が一見無事に見えてるのは
守護の神霊始め身代わりになっておられます神々様の働きのおかげ
なのです

それは菩薩行なのです

バスに乗っている人々が無事なのはその下敷になって血を流し息も
たえだえに身を犠牲にしてある存在があるからこそです

レイ

神々様が人を大切になさっておられるのに

知らぬとはいえ私達は無知で失礼なフルマイばかり

わたしに出来る事を捧げ尽くしていくようにいたします

ありがとうレイ

リン

今日がお仕事の最終日で新年は3日までお休みです

平成19年はあなたと新年をお祝いして

宇宙なる神の御前にアイの契りを交わすのですね

わたしはあなたに何も差し上げられないけれど

真つすぐな心を・無垢で純粋な魂をあなたに捧げあなたを愛し
心をこめて報いることができますように

リン

新年にキミとあった時は神世の現われを喜び祝い奉る

今日三つの編集社にエピソードを送りました

ボクとキミは新年からアイを天地に現わす・・・唯それだけ

レイ

エピソードはあなたと私のアイの相^{スガタ}

真実のアイが人々に伝わりゆきますように

リン

リン

今はキミとボクにしか現わしえないこの世界はやがて世の中の標準
となってゆくことでしょう

マサミさんも手伝ってくれる

レイ

マサミさんの成長ぶりには頭が下がります

ワカヤギさんは現実に耳をふさぎ拗ねてみたり

些細な事に大袈裟に慌てたりと吹き荒ぶ嵐のごとくです

リン

彼は考えの及ばない世界を見て驚き慌て騒いでいるだけ
でも大丈夫・・・

神の御計画は絶対なのだから

キミとボクはアイしあう

ただそれだけ

そのアイの相^{スガタ}が世の上にも現われてまいりますように

レイ

あなたとわたしは無限に愛しあう

神様のご計画に従います

リン

未来の至福がボクの胸に描かれている

レイ

あなたは今夜ひとりでお休みになるの
わたしはバスルームでお湯にユラレティマス
至福のときの前触れ リン

アラタマの新年2日は
キミと一緒にバスに入ってタユタユとユリユラレたい
新年がとても楽しみです レイ

私達
時のたつのも忘れて溶け合うのではないかしら
バスルームでふたり湯気になってしまうかも リン

キミは今日からお休みだね
さっきのアラタマのメールを深夜にボクは間違えてマサミさんに送
っていたんだ
でも彼女の心は嫉妬の心が動いていなかったよ
マサミさんはボクへの所有権を放棄し始めているんだね
素晴らしいよ・・・
マサミさんにおめでとうと言ってあげたい レイ

まあ
マサミさんは乗り越えられたのですね リン

先ほどマサミさんからいただいたメールには
わたしに嫉妬の牙を向けてしまいながらなぜに惹かれるのか？と
いわれてみればおよそ常識からは考えおよびもしないこと
わたしにもわかりませんが神のなさる不思議の一つ
いつか解き明かされる日が楽しみとお返事しました
あなたの笑みがわたしにも移ります リン

ジュピターは私の誓いの歌でした

私が神様の愛を知る為に

窓の外を降りしきるこの雪のように

私の心は白く清らかになってほしい

マサミ

薄っすらと積もった雪に世界が白（神）一色になった

それはマサミさんの心の世界を表わしているね

人の幸せが我が事のように嬉しくなる・・・それが神心

メラメラとした熱で溶かしてしまわぬように常なる心懸けが大切

メールも神懸りだね

神は人に失敗をさせてお使いになるんだね

レイ

愛する人への仕合せが女の幸せ

何があつたとしてもアイする事を止めることはできませんものね

リン

人の心は尊いもの

彼女はやがて天空のタマヒ様そのものとなってゆくことでしょう

レイ

わたしもあなたと同じ想いを感じています

リン

そうだね・神の賜物だよ

マサミさんはボクを所有したかった自分の傲慢な心に気がついて

今はその反極にある無償のアイを掴もうとしている

人は結婚相手や恋人が浮気しようものならば

絶対に許せないという気持ちになるようだけれど

自分が赤子の頃からその相手を育てたわけでもなく

年頃になった頃にその両親から授かっただけなのに

どうしてそんな風に思えるものだろう

自分と結婚しているのだから自分以外の異性に触れることなど絶対に許さないという思いは・結婚という鎖で相手を縛りつけ自分の言うことを聞き思いどおりにしないと気が済まないという事を突きつけていることになるのです

本当に相手の方を大切に思うならば

その方の意思と成長を尊び無限に尽すだけ

許せないという心は思いどおりになる存在がそうならないことへのジレンマだね レイ

マサミさんが真の使命を果たせるように

これからも尽くしてまいります

地球の進化神化の為に リン

ジュピターは私の誓い

神様は人を人の為に創られたのですね

私は今迄自分を自分の為にあると思いついていました
それに気がついたのです マサミ

幸霊の 鈴音鳴らす手弱女は 人の幸祈る神のまにまに レイ

幸霊の 御親の胸へ還り咲く 世に平安の祈り込めつつ リン

会津の津のものは州の字なのです

州はス

それは大宇宙なる神様のこと

親愛の意を込めるときも州をつけるのです

昨夜からの雪が朝はほんのりと晴れていましたが

今はまた天から降ってきて

やっと雪国らしい景色になりました

マサミさんの心もこの雪のように揺るぎないものとなってきている
ようです

天降りて 玉フル御子の霊フリノ 鈴鳴る響き涼やかに鳴り

玉姫に 天降る沙雪の美しさ 闇の静寂に白銀の華

白銀の 舞降る華に智の神の 鼓響けば地の神も舞う

やっぱりキミはステキだね

キミにキスを レイ

わたしがマサミさんに送ったお祝いの歌をあなた教えてもらったの
玉姫に 舞降る沙雪の美しさ 夜の闇に白銀の輝き

あなたはなんてステキなの

わたしのおでこにあなたのキスをもらうわ

リン

あなたと初めてアイを結んだ日曜日

二度目の出会いは水曜日

火曜日は三度目の出会い リン

(日)は宇宙なる神そして(水)はキミ
次の(火)はボクの主宰だね レイ

レイ

火曜日はあなたの日

わたしはあなたの望むままに リン

キミはボクという船にタユタユと揺り揺られて

天の心地を現わすことだろう
もうすぐだね・リン レイ

進化は新歓

わたしの姿があなたの目に映るでしょ
わたしの姿をあなたはこよなく愛して下さったもの
神様が下さった肉体は魂の器だから
リンはあなたに見合った器になりたいの リン

現われの姿はその心より現われるのです
心は形を求めカタチは心をススメル
キミの心は天空のキミに同化しようとしているね
キミの姿もボクの愛したリンそのものになってゆくことでしょう

レイ

あなたの愛したリンの一番好きなところはどこ リン

リンの一番好きなところ
それは大きく円らな深いアイを湛えるその瞳 レイ

わたしも同じ
あなたの瞳が大好き

千恵と勇気を湛えやさしくわたしを見つめる火のようなあなたの瞳
わたしのすべてを愛し天地を慈しむあなたの黒く深い瞳
そしてあなたのクチビル

あなたの囁く言葉と私を呼ぶ時の声
そのクチビルにキスをされるとわたしの身も心もあなたにトケルノ
そしてあなたの手

アイをその手にわたしを労わり癒やす
あなたの手の中から放たれたアイにすべてが委ねられてゆく

リン

昨夜は神御直伝の技をマサミさんに伝えました
本当は彼女の感動の涙が見たかったのですが彼女の心はまだそこま
ではいけないようです

まだ彼女の中に臆する気持

テレテライが残っているからなのでしょう

まあ次第に覚えてゆくことだから レイ

マサミさんは7日の間に随分と変わられました

ご自分の進化の早さに戸惑いもおありのようですが

やがて真の相が現^{スガタ}われてくるのでしょうか リン

そうだね

キミの進化とマサミさんのそれは二重の輪のようにお互いに干渉し
あい変化してゆく レイ

あなたが導き私達は習い覚えるのですね リン

やがてキミとマサミさんはお互いを育てあい

マサミさんはボクから卒業してゆくことでしょう

ボクはマサミさんを天からお預かりしているのだね

夫と云う存在で

一の輪は二の輪に響き三の輪へそして数多^{アマタ}へと

ヒのもの世の標となる

ヒフミ神事だね レイ

神の庭 習い覚えてヒイフウミイ 学び取らなば英智栄えん
リン

恥ずかしいと思うのも自分の心を観ているからなのですね
神様の心を観なければいけないのですね マサミ

恥らいは手弱女の神心

テレテライはカルマだよ

チハヤブル 神の御手業廠かに ヒフミの宣に篤現われん

レイ

フーなんてお見事・・・

新珠の 御親の教え慎んで オミナの努め果たさんとせむ

広がる青空に今もあなたを想います

あなたを愛していることを世界中に発信したい

リン

外は雪も止んで世界が明るくなっています

恥らいは慎みから現れるのです

キミがボクの心に叶うだろうかと思ひ願う心は恥じらい

神様に望まれる姿になりたい『ああ神様未熟な私をお赦し下さい

どうかあなたの御心に叶う私となりますように』と祈り願う心

これが恥じらい

いつもキミがボクに捧げている心

テレは自分が恥ずかしいとか間が悪いなあと思う心

これは自己の気分なのです

^{ニギニギ}和和のお結びは人の世の平和を結ぶ

和と和はリンとマサミさん

ふたりは本来なら恨みあい憎しみあう立場にありこそすれ

姉妹のように愛しい導きあい育てあう関係というものはいまま

に存在しえなかったのではないでしょう

それは地球上の争いの原因をひっくり返したことになるね

何故なら地球上のすべての争いの根本原因は嫉妬心だからです

ひっくり返ればそこに平和が現われる

レイ

あなたとリンさんはひとつと私の心が憶えたからでしょう

平原綾香さんのアルバムはわたしの物語を表わしてくれています
ジューピターが入っていればなんでも良かったのに

たまたま買ってきたこのアルバムはわたしの心を導くものでした

マサミ

4 - 3 バスルームの秘密

ボクはお風呂に入り体を洗うときには
腕に脚に今日も一日ご苦労様です明日もよろしくお願いしますと労
います

肉体は地の神より授かりしものです

その神への感謝とわが身と一体となり命の贄となつてある動植物の
命への感謝と

そのツトメの成就を祈り

五体に天地の五大陸を見つめ

過去から現在そして未来のその土地と民族と人々の平和を祈ります
神からの恩恵を慈しむようにして体を洗うのです
撫で摩つて慈しんであげるのです

リンのバスタイムが永い理由がここにあるのでしよう レイ

わたしのバスタイムはその日一日の疲れを清め洗い流しています
ですから永くかかるのです

もう一つの理由はあなたには・・・秘密です

地球はわたしに海という故郷と山という恋人を授けてくださいました

大地は肉体

風と水は流れる血

空は魂

海は子宮

山は生きる千恵

木々は人々の営みを支え動植物は細胞

髪は飾り

すべては神様からの授かりもの

神様へ無限の感謝を捧げます

人は天地自然森羅万象万世万物の声を聴く

だから万物の霊長というのですね

自分で創れるものはひとつもない

想う心考える力判断する力も神の賜物

神の千恵と力であらゆる物事を築きあげる

そして自分の人格も

上げるは神への献上だから奉る

人は神の千恵と力によって無限の進化創造の活動に乗り

そのすべてを神に捧げ奉るのですね リン

やはりキミはすべてを知っているね

ボクの言葉にキミが応える

すると知っていたことが理解となる

ところで秘密つてなにバスタイムのヒミツ レイ

あのね・レイ

わたしはお湯にユラレテ体を労わり魂を癒すの

そしてあなたにわたしを預けて眠りにつくの

あなたは夜の揺り籠・・・わたしのナイト・フフ リン

キミのバスタイムはボクとのバスタイム

キミはボクの目を見つめボクの身体を慈しむ様に隅々まで洗い清めてくれる

ボクはキミの尽しに応える様にキミを見つめ全身の隅々まで洗い清める

そしてふたりは湯に浸たり

キミはボクの腕のなかに寛いでいる

キミとボクは語りあい慈しみあいキスをかわしあう

ふたりはタユタユと漂いながら時間を忘れたように愛しみあう

温かい宇宙神の子宮アステイのなかに擁かれていた時のように レイ

レイ・・・アア

あなたにはすべてお見通し

このわたしがどんなに幸せか・・・言葉にできないほど
あなたの無限のアイに私は無限に応えたいのです レイ

冬きたりなば春遠からじ

キミが以前に言っていたね

実際に冬至を境に日は延びて春に向かっているのに

現実には二月頃が一番寒かったりする

そして暑さ寒さも彼岸まで

現われの世界とはかようなものですね レイ

あなたが教えて下さいましたね

神の世界が先

人の世界は後

人世の夜はやがて暁を迎える日が来るのでしょうか リン

キミは一段と腕が細くなっているね

僅かな時の流れの中にも変化がありウツシミにも現われてくる
暑さ寒さも彼岸まで

これはこの地上世界でたとえどのような者になろうと

どんなに物を持つとも彼の世の先には持つてはいけないという教
えでしょう

肉体も金銭も地位も名誉もそして家族さえも

何一つ彼の世に持ち帰りは出来ないのです

それらは神から授かった世を生き通す間に必要な道具のようなもの
だから大切にしてお手に使えばいい

人が必要以上にそれを求めて止まない時

道具たる物質に執着しともに沈みゆくのです

人は必ず死を迎えます

そして何物も彼の世へは持ち帰る事は出来ないのです
キミの変化も彼岸頃までのんびりと レイ

人は進化すると体は必要なくなるので

少しずつ小さくなり消え失せるのかと思っていました

あなたとのアイの契りはしばらくは綴ることができるのですね
時間には限りがある

あなたとアイをかわすことを一日足りとも無駄にはできないわ
地球の神様に笑われてしまうもの レイ

体が小さくなってなくなったらキミの魅力が減るじゃないか
今のキミの姿がボクとジャストフィット

神は自然の移り変わりのようにキミを変えてゆく

そうだ・ワカヤギさんの名前はなんておっしゃるのですか

レイ

タミオといえます リン

ヒノモトの アイ燦々と御光は 遍く世界照らしあわせる

杣道を 月の明かりを導^{シベ}にして 兎とともに歩み歩んで レイ

穏やかな陽射しが降りそそぐヨコハマです

今年もあと僅かとなりました

空に地に風にありがとうの想いが胸いっぱいに広がります

神はわたしを娘として慈愛のmanaザシで見守られているのだと感じ
てくるのです

目頭が熱くなり涙がこぼれて頬を伝います

あなたを愛しています リン

白雪が 覆いし御池の水面にも 漣立つを誰ぞ知るらん

ボクは昼過ぎから陽射しのつよい空を観ながらキミのことを想っていました

日の本の国アイ燦々とその御光は遍く世界の隅々にまで照らしあわせるだろうと

ソラから響いて来た

愛するリン

キミの心の細波は雪が覆って誰にも見えないようでも

ボクは知っている レイ

お部屋のお掃除に一日かかってしまいました
何を見つけたと思う

あなたと初めてイズで出会った日『1998・8・7』 わたしの

メモリー

わたしを目覚めさせてくれたあなた

わたしの中の何かが求めていたものに出会えた喜び

零と凜

その魂はフルエながら融合して天空へ昇り

数多とひとつとなり広大な空間をメテオのように飛びまわり

融け込むようにソラとひとつになる

あなたからのメールが届いたときに見つけたのです リン

199887

神はキミとボクを遣い世界を無限創造に導かれると数字があらわしているね

キミとボクは初めから決っていたんだ

今にしてすべてが成就することが定められていたのだね

今日も空を観るとキミとボクが無限にあっていた

標 標 標となるように

やがてマサミさんがかわりワカヤギさんがかわるでしょう
初めは身近な人から・やがては数多に・・・ レイ

神のはからいに胸がフルエマス

夕暮れの太陽は茜色に輝き東には上弦の月が白銀色に照らされています

わたしは陽に月に祈りを捧げました

あなたとわたしの愛が宇宙神とひとつになり

地球を照らし平和へと導きますように

リンはレイを無限に愛することを陽に月に誓いました リン

キミが観たように陽と月は男と女のスガタ

地上世界を照らすその光は神より現われたもの

人は神にテラサレテその光を地上世界にウツスのです レイ

アラタマの 世に鈴音の鳴り成りて 数多に民の導べとは為らん

リン

キミとボク 天地の宜に鳴り成りて 響き伝わる天地のアイ

レイ

アルテシア 星のイズミに魂ユレテ キヨラニ咲くはサチの華なり

リン

メイシアに 天降る雫の満ち充ちて 地に舞い降りし天の華かな

レイ

慎んでアラタマの年の祝いを申し上げます

新たな年をお迎え出来るのもあなたのアイあればこそ

あなたと迎える平成１９年は大切な一年の始まり

すべてはアイによって始まると神も云われています リン

神々と ふたりの永久の夢叶い 高天原に神々集う リン

ヒに誓い 揺るぎなきその胸のうち 山の裾根に響きこだます
マサミ

初日の出 誓う心は揺るぎなく ひろがり響く山の御裾に レイ

4 - 4 ジュピター (蟬と小鳥)

宇宙はアイより生まれ

アイによつて育まれ

アイによつて終える

私達は宇宙なる存在を何とお呼びしたらいいのでしょうか

それは宇宙神様
オヤナルカミサマ

銀河も星も人も動植物も時間も空間もあらゆる物質非物質の元は宇宙なる神にあつて

すべてはそこから現われいでたものだからです

それは一点の状態から無限の広さへと拡がり続けています

やがてその拡がりは大極に達すると反転して狭まり始めやがて元の点に戻ります

もちろん地球外にも人類は存在しております

宇宙のすべてが元はひとつから現われているのですから自分がこの星に存在しているということそのものが他の星にも人類が存在する証拠となるのです

ですから地球外の宇宙人類方は宇宙の兄弟姉妹なのです

肉体や魂の状態はその星によつて異なります

星の条件に見合った肉体や魂の状態になるのです

人としての姿は同じように見えてもその心境は異なるように

見た目が同じように見える星であってもその状態と存在する人類は異なる場合が多いのです

心は無限段階・無限領域・無限感覚・無限時間

魂の中に存在する霊は全宇宙人類共通のもので

人は肉体に魂が宿りその魂に包まれた様に霊が存在しております

霊は宇宙神より生れて星々に現われ

その星の魂と自分で現わした魂を融合し靈に纏^{マト}い
人の胎を借りて星から授かる肉体に宿り地上世界に生まれ落ちてい
るのです

人は小^{ミタマ}靈

宇宙なる神は大^{オオミタマ}靈

そこから分れてあるので小^コ靈を分^{ワケ}靈とも云うのです

小^コ靈は宇宙神ご自身でもあるのです

Every day I listen to my heart
ひとりじゃない 深い胸の奥で繋がってる

宇宙神は私達の深い胸の奥に小^{ミタマ}靈としておられるのです

なぜなら大^{オオミタマ}靈と小^{ミタマ}靈は別なようにひとつのものだからです

ですから人はいつでも宇宙神の音^{コエ}を聴くことが出来るのです

人は本来宇宙なる神といつもいつでもひとつなのです

やがて誰もが思い出すでしょう

三才頃に聴いた天の啓示を

地上世界にあなたが生まれて初めてあなたに語りかけてくださった
その時のことを

神はあなたになにを語りかけてきたのでしょうか

人は始めにそれを思い出さねばならないのです

あなたが胸の深い奥に耳を澄まして

その音^{コエ}を聴くならば

きつと宇宙神は応えてくれる

でも人は魂を持ち肉体を持っているので

聴こえてくる音^{コエ}が宇宙神のものであるかそうでないかは判断が出来
ないものです

ともするとその音^{コエ}は

生まれ変わりの中での蓄積や経験からのものであったり

肉体の要求欲望からのものであったり

霊的存在があなたの胸をかりて語るものであったりもするのです
たとえ霊能が有ったにしても神か邪かの判断はつかないものです
ですから宇宙神は必ず復唱確認をなさいます

それは天地自然の姿に

それは朝夕の太陽に

部屋に差し込む光の彩りに

木々の狭間から零れさす光りに

風や雪や雨のフルマイに

空に浮かぶ雲の形や鳥の姿に

虫やカワズの声に

それは人の行いの姿や言葉の内にも

宇宙神は天地自然森羅万象万世万物の相をして^{スガタ}教えてくれるのです

あなたが生まれる以前にはいったどこに存在していたのでしょうか

それは地球の過去のどこかの国であったかも知れない

それとも地球以外の星々のどこかであったかもしれない

星の輝^{ヒカリ}が私達の目に映る時

そのヒカリは何万年何億年もかけてあなたの目に映るのです

今耀いている星がすでに数億年前に消滅しているかもしれない

その星の耀きは今あなたがそこにいることを伝えているのです

この世界に偶然はありません

星の耀きはあなたの目に映るその時の為に何万年何億年も前から光
を発しているのです

それはまさに奇跡としかいいようのない出来事ではあるけれど

宇宙では至極当然なのです

神は何十億年も前からあなたが今の一瞬に星の耀きを目に映すこと
を知っておられたのです

星の耀きはあなたの心に応えているのです

Every day I listen to my heart

深い胸の内に手をあてて聴いてごらん

あなたはいつもひとりじゃない

あなたの周囲をよく観ると

あなたの着ているお洋服や家や家族や水に光に空気

すべては宇宙なる神様から現われてきたものです

それは宇宙神そのものの相スカタでもあるのです

神は靴下となりお洋服となり肉体となり魂となり

家族となり家となつて私達に仕え尽くして下さつておられるのです

人はありのままで宇宙なる神の御胸に擁かれているのです

人が真の神を知るならば

人は神の役に立ちたいと願うものです

でも自分はいつたいたいどうしたら神のお役に立てるだろうか

そのときに混沌とした暗黒を彷徨うのです

なぜなら神を知り宇宙を知れば知るほど現実の自分の姿やフルマイが

神に仇なすことはあつても役立つというところからは程遠いことが

わかつてくるからなのです

そしてその時神は云われます

人の歎き悲しみ苦しみ傷みを知りなさい

それはすべて我が歎き悲しみ苦しみ傷みなのだから・・・と

人は人生に夢や希望を持ちます

しかしその人生も先に進んでみると現実という重い石のようなものがのしかかり

夢や希望は現実を生きると云う事に摩り替えられてゆきます

人の生きる姿は様々に見えても

神からすると皆同じように見えているのです

それは自己の満足を追い求め実現してゆく道

人はそれを当然と思っているでしょう
だがこれからはつきりと言わねばなりません
私達を在らしめている大宇宙では
自己満足は罪悪であると云うことを

宇宙には法則があります

それは宇宙の成立ちに宇宙神が立てられた誓い
すべての人はその思い行いを法則に照らしあわされ
そのすべてを我が身と魂に受けるのです
いままでの人類は人の背後で護り導かれる守護神霊が80%を受け
ておられて

その人が受けるのは20%でよかったのですが
此れからは50%は本人が受けることとなるでしょう
自己満足な思い行いの過ちから現われたカルマによって
人は自らの本当の姿を知ることになるのです

しかしそうして夢を失うことより
もつと悲しいことがあります

それは自分を信じてあげられないこと
人は自分を信じています

ではその信じている自分と云うのは一体何者なのか
人が信じている自分と云うのは自我の想いなのです
大宇宙は個人の為に存在しているわけではありません
創生した宇宙神のために在るのです
ですから自我の想いは宇宙の法則に照らしあわされて
是か非かを問われることになります

本当に信じるべき自分とは
胸の深い所におわします宇宙なる神
その真実の自分を信じきれた時

人にその叡知と力が現われてくるのです

宇宙神はアイであられます

神のアイは人の感情想念の愛とは似て異なるものです

神への信とアイを学ぶために人は孤独と云うトンネルを越えねばなりません

孤独は永く切なく虚しく

泥の中をはいずり回るような現実をくぐり抜けねばなりません

そのトンネルは無限のようにみえて一瞬のようでもあります

トンネルをくぐり抜ける間には様々な人生があるでしょう

しかしたとえどんな事があるうと

その出来事に偶然はありません

何一つ偶然はないのです

すべては意味があり意義があり価値があるので

そのひとつ々の出来事は

やがてトンネルを抜けたときに目の前に神が現われて

その神への信と真実のアイを現わす為の原動力となるのです

ロケットが地上から宇宙へ飛び立つ時にいちばん推進力を使うのと

同じように

神への信と真実のアイを現わすには勢いがいるのです

孤独とは神の御胸に帰る時のチカラを培うことなのです

そして孤独のトンネルを抜ける時に1番肝心なのはひねくれないこと

それは直^{スナオ}

自分にスナオであり人にスナオ

現われの運命にスナオ

それは神にスナオということなのです

直^{スナオ}に勝る知恵はなし・・・

人は孤独と云うトンネルの中でやがて絶叫を上げる時がくるのです
身も心も絶え々になりながら・・・

心の静寂に耳を澄ませばきつと神の音は聴こえてくるはず
あなたが神の名を呼べばあなたの前にきつと現われてこられます
そう あなたの愛するべき存在となって
あなたは目の前に現れた愛するべき存在の姿をとった神を
抱きしめてその命の温もりを感じるのです

あなたの遥かな過去世から今まで
通ってきた人生の歎きも悲しみも苦しみも傷みも
神はすべてを知っておられます
そしてそのひとつ々は
必要な出来事であり経験であつたことも
すべての所業は宇宙神の為の経験であり出来事であつたのです

私達は

自分を赦し人を赦し

自分を愛し人もまた愛するのです

すべては宇宙神の現われの相であり神の御経験であるのですから
いつもいつでも

何処の誰もひとりではありません

神は必ずあなたの目の前にあなたの愛するべき存在として現われて
神はそこにおられるのです

そしてあなたの中にも・・・

ですから人はその身そのままいつでも神に愛されているの
です

宇宙なる神はこの現われの世界が変わりゆく狭間で

人の過去世から現在までの集大成の望みが叶うことを願い祈ってお
られます

あなたの輝ける未来の為に後悔を残さぬように

星の環境がかわるとき人は集大成の望みを実現し後悔を残さないこととがとても大切なのです

人類の課題は所有権を放棄してあらゆるすべての望みを叶えることです

運命に現われてくることはその本人が望んで臨んだことを神が実現された出来事なのです

でも人はそれに不平をもち不満をあらわし歎きに落ちてゆく

神は偽らざるその人の願望を現わしておられるのに・・・

人間は本来あらゆるすべてを尊び称え

恋しみ慕い仕え尽くすべき存在なのです

何故なら存在のすべては

宇宙なる神より現われたものだから

人類はその反対の自尊心と執着心に囚われて

自己の満足を追い求めて止まないのです

それは宇宙の理念とは正反対の世界

アイ

宇宙の真はそこに現われてくるのです

人類は自己の満足不満足の世界に生きています

神の満足・・・

人は神から現われてくるのだから自分以外のすべての望みに仕え尽くすこと

それが神の満足に繋がってゆくのです

所有権は自己と自己以外を思いどおりにしたいという想い

それは人類に階級を作り

人の世に歎きと悲しみと苦しみ傷みを現わす

人類は仕えあい尽くしあいを現わさなければならぬのです

蝉と小鳥は人類の現在と未来の姿を表現しているものです

蝉は幼虫の時は土の中で木の根の養分を吸って生活し

普通六年から七年かかって成虫になります

七は宇宙の進化の数を示し

木は宇宙神の現われの姿を表わしています

根からの養分は神の滋養であり知恵と力そして恩恵を示しています

蝉の成虫は一週間でその人生を終えます

人の一生涯は蝉の一週間に当ります

そして過去世の人生は蝉の土中に送った7年間なのです

蝉の中には地上にすることもなく土中にその一生涯を終えるものもあるでしょう

成虫になれても子孫を残せずに死ぬ蝉もあるでしょう

ヒグラシの鳴き声は世の悲しみを唄っています

アブラゼミやミンミンゼミは自己の想いを唄っています

やっと地上に出て成虫になれたとしても

外敵に襲われたり事故にあったりして命を終える蝉もあるでしょう
無事に成虫になりその一週間をおもいきり鳴いて子孫を残しその天命を成就した蝉は

次に生まれ変わる時には小鳥になるのです

小鳥になれば大いなる空を自由に飛べる翼を与えられます

神の耳を楽しませる声を授かります

そしてその愛くるしい姿を与えられます

小鳥は撒かず刈らず天地の恩恵を受けてそのままに生きてゆけるのです

人の世もやがてのうちにはそうなつてゆくことでしょう

アラタマの御世は人があらゆる所有権を放棄するということ
人は利害や思い違いの愛という鎖で

お互いを繋ぎ縛りあっていることに気がついてはいない

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3453c/>

トリプルスズ エピソード 2

2010年10月21日22時29分発行